

令和5年度都立田無高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「読むこと」の指導の充実	・教科書多種多様な文章に触れる機会を設け、言語に対する興味関心を抱かせる指導。 ・一つの問いに、生徒自らが考え共有できるよう、対話型の授業を行う。 ・百人一首大会の開催。	・単元ごとにレポートの作成を課し、生徒の表現力を養う指導。 ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地理歴史	明るい未来を作り上げるための知識と理解力を育てる	現代の社会における問題点との関わりを意識した授業を展開する	プリントや視聴覚教材などを利用しながら、想像力を働かせるように工夫する。
数学	・数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	自然との関りを重視した授業展開	実験、ICT端末を活用し、実物を見せる授業を展開する。	科学館、科学イベント等の情報を授業内でも共有し、興味関心を高めるきっかけを提供する。
体育	自己の可能性を広げることのできる、「挑戦する心」を育てる。	考えて工夫して取り組むことで、できなかったことができるようになる喜びを積み重ね、自己肯定感を高めるように取り組ませる。	・水泳(夏季)、持久走(冬季)、トレーニング(通年)において、苦手なことから逃げない取り組み。・3年間で様々な実技を身に付け、生涯運動に親しむ素養を身に付ける。
芸術	表現を工夫する力の育成。	題材設定や授業展開において、生徒がより良い表現を考える機会を多く取り入れる。	表現活動の際に鑑賞活動を効果的に取り入れ、表現に生かせるように指導する。
英語	「話すこと」の指導の充実	・各科目、学期に2回単語テストを実施 ・CAN-DOリストを見直す ・全ての授業で開始1分間「話すこと」についての活動を実施	・ALTとの授業において、タブレット端末を使用しながら、プレゼンやスピーチ活動を取り入れる。
情報	情報社会を支える技術や役割を実習を通して習得させる	・副教材で情報モラルをまとめたものを利用 ・実習に必要な知識をまとめたテキストを使う ・情報を発信できる能力を取得させ実習を実施	・外部の検定試験や国家資格の取得に力を注ぐ ・専門学校などで行っている、プログラミングや試験対策の授業を受講する
人間と社会	よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育てる。	・調査活動・ワークショップ等の体験活動を実施する。	・ボランティア活動への参加を支援する。